

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019 年 7 月 30 日作成 1.0 版

研究課題名	去勢抵抗性前立腺がんに対するラジウム223治療に関する多施設後ろ向き観察研究
研究の対象	2016年1月1日から2019年7月6日までに前立腺がんにてラジウム223(商品名：ゾーフィゴ)を投与された方
研究目的 ・方法	目的：ラジウム223は前立腺癌骨転移による痛みを軽減するだけでなく、予後を延長する効果が報告されています。一方で6回の投与を完遂できずに中断してしまう方もおり、どのようなタイミングで患者さんに投与するのが最適なのか詳細は明らかではありません。本研究では前立腺がんにて当科でラジウム223にて治療された方の経過を調査し、治療状況を調査します 方法：個人情報以外の前立腺癌についての臨床情報をカルテから抽出し解析します
研究期間	西暦 2019 年 9 月 6 日 ~ 西暦 2020 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	カルテ情報（診断名、年齢、性別、身長、体重、治療歴）、採血情報など
外部への 試料・情報の 提供	主たる研究機関である札幌医科大学附属病院 泌尿器科（研究代表者：舛森直哉）に郵送またはFAXにて提供され解析されます。 主たる研究機関では本研究に関する文書および記録などは、院内LANやインターネットに接続されていない独立したコンピューター端末でパスワードをかけ保管し、紙で保管する場合は、ファイルに綴じて施錠できる書棚で厳重に管理し、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう保管を行います。また、少なくとも本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年後のいずれかの遅い日までの期間、個人情報の保護に留意し厳重に管理します。また、保存期間が終了後廃棄する際は、電子媒体で保存している情報については保存しているコンピューター端末等から復元不可能な形で消去し、紙媒体で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	外部からの試料・情報の取得と保管はありません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	研究代表者： 札幌医科大学附属病院 泌尿器科 舛森直哉 研究参加施設： 札幌医科大学附属病院，横浜市立大学附属市民総合医療センター，他計 16 施設
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科（研究責任者）三好 康秀 電話番号：045-261-5656（代表） 研究代表者：札幌医科大学附属病院 泌尿器科 舛森直哉</p>	